

横浜災害ボランティアネットワーク会議

令和元年度 事業計画

【横浜災害ボランティアネットワーク会議基本方針】

- 1)横浜市災害ボランティア支援センターの組織体制の構築
- 2)区災害ボランティアネットワークの支援
- 3)各機関との連携強化
- 4)災害時のボランティア活動啓発
- 5)災害情報等の収集・提供及び情報システムの構築
- 6)横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

【令和元年度 実施事業】

1) 横浜市災害ボランティア支援センター（以下市災ボラ支援センター）の組織体制の構築

①災害ボランティアセンター訓練の実施

平成30年度に実施した研修や受講者のニーズをふまえ、市および各区の災害ボランティアセンター運営者を対象に、ICT（情報通信技術）をテーマとした訓練を実施します。

②市域団体との連携強化

連携に向けた体制づくりのために市域団体と災害時の役割について検討を行います。

2) 区災害ボランティアネットワーク（以下「区災ボラネット」）の支援

①区災ボラネット連絡会の開催

隣接区等の区域を越えた連携強化をはかるために、市内18区をA～Dの4ブロックに分けたブロック別連絡会を開催します。ブロック別連絡会については、各ブロックの状況にあわせて実施します。

②ブロック別連絡会助成金の実施

ブロック別連絡会における研修会や訓練等の開催について支援するため、各ブロック上限3万円の助成金を実施します。

③各区災ボラネット活動情報のとりまとめ

各区災ボラネットの活動情報について集約し、他区との情報共有を図ります。

3) 各機関との連携強化

①横浜市防災計画の推進をはかるべく、横浜市（市民局・総務局・健康福祉局等）と連携し、市及び区での協定書・マニュアルの整備や資機材の配備等支援をすすめます。

②市域を超えた連携強化のため、NPO法人神奈川災害ボランティアネットワークをはじめ、全国的なネットワーク団体、県・他都市社協等との連携をすすめます。

4) 災害時のボランティア活動啓発

- ①災ボラセンターの運営に関わる方（行政・社協・区災ボラネット・市災ボラ会員等）、関心のある方を対象とした災害ボランティア啓発研修を実施します。
- ②市域でのイベントの協力や講演会等の開催を通じて、市民の方々に対して、「災害ボランティア」や「各区災ボラネットの活動事例」等を周知します。
- ③被災地の状況を共通認識としてより深めていくため、会員が被災現場で災害ボランティア・支援活動を行う支援体制づくりに着手します。（災害ボランティアバス参加支援）【新規】

5) 災害情報等の収集・提供および情報システムの構築

- ①会報NEWS LETTER（ニュースレター）の発行をはじめとした情報収集・提供についての実施体制を見直し、発信します。【新規】
- ②横浜災害ボランティアネットワーク会議ホームページを活用し、災害に関する情報等を常時収集、整理、提供します。
- ③市災ボラ支援センターホームページについて、災害時に備えた適切な維持・管理を行います。

6) 横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

- ①運営委員を中心に、多くの会員に主体的に関わってもらうよう、テーマ別の委員会（仮称）を立ち上げます。【新規】
- ②平常時から会員間の円滑な連絡体制づくりを推進します。
- ③災害時の迅速な対応に備えるため、特別会計の適正な運用を行います。【新規】

令和元年度 年間スケジュール

4月	5月	6月	7月
		・総会および会員向け研修会	
【通年】ブロック別連絡会（各ブロックの状況に応じて）および助成金交付			
8月	9月	10月	11月
・NEWSLETTERの発行	・市域団体との連携強化のための検討会	 ・災害ボランティア啓発研修	
12月	1月	2月	3月
	・NEWSLETTERの発行	・災害ボランティアセンター訓練	

- 運営委員会…年6回程度開催
- テーマ別委員会…年4回程度開催
- 会員向け研修会…総会と同日開催
- 横浜災害ボランティアネットワーク会議総会…会員向け研修会と同日開催
- 市域団体との連携強化のための検討会の開催…9月開催予定
- 災害ボランティア啓発研修…10～11月の開催
- 市・区災害ボランティアセンター訓練（ICTをテーマとした訓練）…2月～3月頃実施予定
- 区災ボラネット連絡会
 - ・ブロック別連絡会…ブロックごとに年数回開催

参考：市内のブロック分け

- Aブロック…鶴見・神奈川・西・中・南の5区
- Bブロック…港南・磯子・金沢・戸塚・栄の5区
- Cブロック…保土ケ谷・旭・泉・瀬谷の4区
- Dブロック…港北・緑・青葉・都筑の4区